



# としょかんだより 9月号



東峰学園（小学部）梶原弥生

2学期が始まって1ヶ月が過ぎ、朝と夕方は少しずつ涼しく、過ごしやすくなりました。これから本を読むのいい季節になります。図書館をたくさん利用して、秋の夜長を楽しんでほしいと思います。

## ふしぎなお月さま

9月29日は、中秋の名月です。1年で最も美しい月の日だと言われています。お月さまの登場する本を読んでゆっくり夜空を見上げてみませんか。おすすめのお月さまの登場する本を紹介します

### 「きょうはそらにまるいつき」(荒井良二)

ふと見上げた空にみつけたまんまるいお月さま。町でくらす人たちに、山や海の生きものたちにやさしい光がふりそそぎます。



### 「お月さまってどんなあじ？」(マイケル・グレイニエツ)

お月さまをかじってみたいけれど、なかなか届きません。動物たちは力を合わせて、背中に乗っていきます・・・。



### 「14ひきのおつきみ」(いわむらかずお)

木の上にお月見台を作り、準備を整えて月が昇るのをねずみたちは待っています。満月が浮かぶ夜空は、思わず息をのむ美しさです。



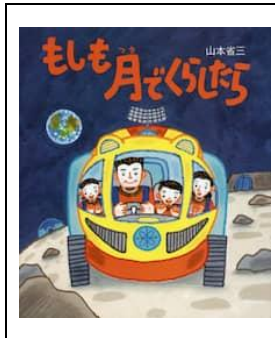
### 「月でたんじょうパーティーをひらいたら」(山本省三)

月は地球からおよそ38万キロはなれています。宇宙船に乗れば3、4日で着きますが、人が寝ないで歩いてみると10年以上かかる距離です。誕生パーティーが10回も開けますね。



### 「もしも月でくらしたら」(山本省三)

地球のとなりにある「月」には、まだまだ私たちが知らない秘密がたくさんあります。お父さんの仕事で、月で暮らすことになった満くんが生活をしながら月の秘密を解き明かしてくれます。



### 「月とアポロとマーガレット」(ディーン・ロビンズ)

マーガレットは女の子だから出来ない、なんてことはないと思っていました。何でも出来るように一生懸命勉強するうちに数学が大好きになり、発明されたコンピューターに夢中になり、月着陸のアポロ計画のプログラムをまかされたのです。



## あたら ほん とど 新しい本が届きました

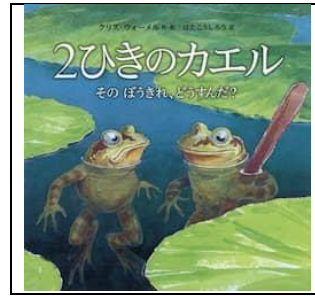
### 「トットちゃんの15つぶのだいず」(黒柳徹子)

トットちゃんが小学2年生の時、戦争が始まりました。パパは、兵隊となり食べ物はどんどん少なくなっていきました。ある日、「これがあなたの1日分の食べ物よ」と封筒に入った15粒の大豆を渡されました。トットちゃんは、15粒をいつ食べるかなや悩みに悩みます。



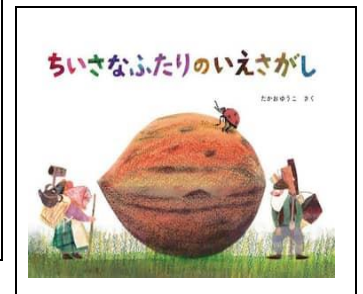
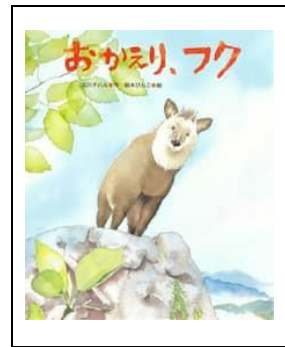
### 「2ひきのカエル」(クリス・ウオーメル)

大きな池の真ん中のスイレンの葉の上に2ひきのカエルがいました。かた方のカエルは、ぼうきれを持っています。「なんでそんなぼうきれを持っているのさ」と聞きました。さて、何に使うのでしょうか？



### 「なにかがいる」(佐藤雅彦+ユーフラテス)

敵から身を守るため、周りのものに自分の身体をとけ込ませ自くらまする「擬態」という技をもつ生きものたちがいます。そんなかくれてしまっている生きものたちを目をこらして、探してみてください。



### 「おかえり、フク」(北川チハル)

山の集落でくらす老夫婦がニホンカモシカの赤ちゃんを保護しました。1歳になったら、山へ帰す約束で育てられますが、やがて別れがやってきます。

### 「ちいさなふたりのいえさがし」(たかおゆうこ)

もしもちいさくなら、どんな家にすみたいですか？いちご、すいか、りんご……。ふたりにぴったりの家は見つかるのでしょうか？



### 「ライスボールとみそ蔵と」(横田明子/作)

古い蔵で手作りみそを作る家に生まれたジュンは、お父さんから「もっとみそにきょうみを持って」と言われるのがいやでたまりません。そんな時、ロンドンからの転校生、ユキちゃんに「蔵を見せてほしい」とたのまれます。



### 「フードバンクどんぼうをつかまえる！」(オンジャリQ・ラウフ/著)

おなかをすかせた人たちを救ってきた食べ物銀行(フードバンク)。そんな世界で一番すばらしい銀行が悪いやつにねらわれているらしい。ネルソンたちは、子ども探偵になって、ひそかに調査にのりだします。